

# 西大和つうしん

2011年 9月号

No.351



コバイケイソウと前穂高岳(7/24)

奈良県勤労者山岳連盟  
西大和山の会

# 西大和つうしん

第351号(2011年9月号)

## 【目次】

山行計画	-----	1
9月度・10月度カレンダー	-----	2
例会山行《7月23~26日》北アルプス 穂高連峰縦走(藤井)	-----	3~4
例会山行《8月1~3日》北関東の山 日光白根山~男体山~那須岳(島崎)	--	5~7
自主山行《8月2~3日》北アルプス 立山三山~剣岳(杉村)	-----	8~10
教育山行《8月 7日》金剛山地 金剛山(的場・杉川・多賀)	-----	11
例会山行《8月21日》大峰の山 和佐又山(玉越)	-----	12
室内例会だより	-----	13

## 9 月 度 山 行 計 画

9月4日(日) 広域捜査訓練

台高の山 《高見山 北尾根周辺》

~大山連峰の東に連なる美しい大自然~

30周年記念テント山行

9月10日(土)~11日(日)

中国山地 《蒜山三山(下蒜山~中蒜山~上蒜山)》(L:多賀)

【集 合】 9/10(土)・AM8:00/JR王寺駅南口(元イズミヤ前)

【コース】 《10日》JR王寺駅⇒(米子自動車道・蒜山IC)⇒塩釜キャンプ場  
塩釜キャンプ場にてテント泊(夕食は共同食)

《11日》大挾峠(7:00)~下蒜山~中蒜山~上蒜山~百合原牧場

【帰宅予定】 JR王寺駅南口 21:00着予定

~残暑の中 沢と滝と池に涼を求めて~

女性部山行 9月18日(日)

比良山系《白滝山》(L:勝尾)

【集 合】 上牧町役場駐車場 6:30発

【コース】 坊村(9:00)~白滝山(11:00)~夫婦岩(12:30/13:00)~  
牛コバ(14:00)~坊村(15:00)

【帰宅予定】 上牧町役場駐車場 18:30着予定

~湖南に位置する巨大な奇岩、奇景が多い山へ一緒に行きましょう~

平日山行 9月23日(祝)

湖南の山 《金勝アルプス》(L:杉村)

【集 合】 上牧町役場駐車場 7:00発

【コース】 上桐生(9:00)~落が滝~鶏冠山~天狗岩(11:30)~竜王山~  
狛坂磨崖仏~上桐生

【帰宅予定】 上牧町役場駐車場 18:00着予定

# 西大和山の会 カレンダー

9 月		10 月	
1 木		1 土	平日山行
2 金		2 日	八甲田山
3 土		3 月	岩木山(島崎)
4 日	広域搜索訓練	4 火	
5 月		5 水	
6 火		6 木	
7 水	県連理事会	7 金	
8 木		8 土	
9 金		9 日	
10 土	記念(テマ)山行	10 月	
11 日	赤山三山(多賀)	11 火	
12 月		12 水	
13 火		13 木	
14 水		14 金	
15 木		15 土	
16 金		16 日	例会山行 迷岳(藤井)
17 土		17 月	
18 日	女性部山行 比良白滝~木戸峠	18 火	
19 月		19 水	原稿締切日
20 火		20 木	
21 水	原稿締切日	21 金	
22 木		22 土	
23 金	平日山行 金勝アルプス(杉村)	23 日	
24 土		24 月	
25 日		25 火	
26 月		26 水	室内例会
27 火		27 木	
28 水	室内例会	28 金	
29 木		29 土	
30 金		30 日	平日山行 鬼ヶ牙~白杵山(田中初)
		31 月	

例会山行2

北アルプス 《北穂高岳、奥穂高岳、前穂高岳》

【日 程】 2011年7月23日～26日

【参加者】 L藤井、島崎、田中悦、村田、勝尾

【コースタイム】大阪 2:00(夜行バス) 上高地 6:00

23日 上高地(6:15)→河童橋(7:00)明神池→(8:00/8:10)→徳沢  
(9:10/9:20)→横尾(10:22/10:45)→本谷橋(11:55/12:35)  
→涸沢小屋(14:45)

24日 涸沢小屋(6:15)→北穂岳(9:47/9:50)→北穂高岳小屋(9:55  
/10:12)→最低コル(12:47)→涸沢岳(14:05/14:25)→  
穂高岳山荘(14:45)

25日 穂高岳山荘(5:40)→奥穂高岳(6:32/6:46)→紀美子平(9:00  
/9:08)→前穂高岳(9:46/10:02)→紀美子平(10:50/11:03)  
→岳沢(14:40/15:00)→上高地(17:30)

26日 田代池、大正池散策 上高地 14:30(バス) 大阪 20:30

23日 夜行バスでさわやかな早朝の上高地に到着。天気は上々、上高地に前泊した勝尾さんと合流して河童橋のたもとで朝食をとりスタートする。

横尾までは梓川沿いのほぼ平坦な道、お喋りを楽しみながらのんびり歩く。遠くに見えていた屏風岩がしだいに迫ってくると横尾に着いた。横尾からは槍ヶ岳を目指す人たちと別れ、横尾谷に入り高度を上げていく。

本谷橋では大勢の人たちが休憩をとっていた。本谷橋からは急な登りが続く。今年は残雪が多いようで、涸沢より少し手前から雪の上を登っていく。涸沢の上部に立つ涸沢小屋が今夜の宿。小屋の前の広いテラスで前穂や奥穂を見上げながら至福のビールを味わう。

24日 夜半激しい雨の音にびっくりするが朝には止んで青空が広がっていた。

北穂の登り始めの急登も雪渓が残っていて不安に思ったが、しっかりトレースが付けられていた。雪渓を抜けると日当たりのいい急斜面は一面のお花畑。コバイケイソウ、ハクサンイチゲが美しい。喘ぎ喘ぎ一歩ずつ登っていく。可憐な花が辛さを癒してくれる。

岩場の急な登りが続き斜面に付けられた狭いテント場を通過する。涸沢岳との分岐からの残雪には階段状に道がつけられていた。

北穂の頂上はいくガスが出てきて展望はなかったが少し下った北穂の小屋からは槍ヶ岳やそれに続く稜線が見渡せた。北穂の山頂に戻り、分岐から今回の核心部涸沢岳への縦走路に向かう。

ヤせた稜線の岩場を鎖や梯子もあり慎重に通過する。過酷な環境の中でも小さな花がけなげに咲いている。時折ガスがとれて視界がパッと開け、涸沢の小屋が見えるが涸沢岳に着いた時はすっかりガスの中だった。涸沢岳の手前で太った胸毛のまだ白い雷鳥を見る。涸沢岳からは 20 分ほどで小屋に着いた。

25 日 また夜、雨の音を聞いたが目覚めると一面の雲海の上に常念岳が浮かんでいてご来光を見ることができた。

奥穂の登りは初めの岩場を過ぎると後は歩きやすい道になる。振り返ると槍ヶ岳の秀峰が聳えていた。第三位の高峰の奥穂岳は込み合っていた。奥穂からの吊り尾根は花と展望の楽しい 3000 メートルの雲上の稜線歩き、北アルプスの醍醐味だ。鎖場では団体さんで渋滞していて結構時間がかかった。前穂への分岐の紀美子平に着くころにはまたガスにおおわれてしまった。前穂には空身でピストンする。今回最後の 4 つ目のピークも展望はなし。

後は下るのみなのだがまだまだ鎖、梯子の厳しい道が続く。稜線で昼食をとっているといきなり雨が降り出し片付けるのもそこそこに、あわてて雨具を着る。

重太郎新道は雨で滑りやすいのと、疲れがでてきているのとで新装された岳沢小屋がすぐそこに見えてきているのに、なかなかたどり着けない。長くて険しい道だった。

岳沢の小屋からは整備された歩きやすい道になる。一旦止んだ雨がまた降り出し、本降りになってきた。5 時半に上高地の宿泊地、西糸屋山荘に到着。12 時間近く歩いたことになる。長い長い一日だった。

26 日 帰りのバスは 2 時半出発なのでのんびり田代池、大正池を散策する。昨日までの疲れで筋肉通や膝の痛みにも耐えながら、これもリハビリのうち？

展望、花に恵まれ穂高連峰を縦走できた満足感いっぱいの山行だった。

(記 藤井)

# 例会山行

## <日光白根山・男体山・那須岳>

【日 程】 2011年7月31日～8月4日  
天気 朝方晴れ後曇り

【参加者】 L 三島・島崎

【コースタイム】 7月31日:難波OCT22:30～高崎駅 5:00

8月1日:高崎駅 6:23～沼田 7:06-8:02～鎌田 9:06-30 丸沼高原スキー場  
9:57-10:08～ロープウェイ山頂駅 2000M 10:25-35～地獄ナギ  
11:18～白根山 12:46・2578M～避難小屋 13:40-14:18～五色沼  
14:30～避難小屋 15:00～前白根山 15:38・2373M～天狗平 16:07  
～登山口 17:33～おおるり山荘 18:20 **おおるり山荘@55002食付き**  
歩数24596

8月2日:おおるり山荘 8:27～二荒山神社 8:56-9:13～4合目 10:10～8合目  
11:10～男体山 2486M・12:47-13:20～8合目 13:45～4合目 15:03  
～二荒山神社 16:00-04 発  
JR日光駅 16:50-17:07 発～JR宇都宮 17:50 歩数20445

8月3日:JR宇都宮 6:11～黒磯駅 7:00-20 発～那須RW駅 8:20-30～那須R  
W山頂駅 8:34～那須岳 1915M・9:20～峰の茶屋 9:54～朝日の肩  
10:30～朝日岳 1896M 10:42～清水平 11:20～昼食 11:47-12:13～  
三本槍岳 1917M 12:26～清水平 13:03～峰の茶屋 14:06～那須RW  
山頂駅 15:35-16:05 発～黒磯駅 16:55-17:12 発～JR宇都宮  
18:01 **リッチモンドホテル@5850 素泊まり** 歩数23984

### 概略

今回参加者2名と寂しい山行だ！！、難波OCT～バスにて、高崎駅へ、  
小雨模様の天気、コンビニにて朝食購入し、JR沼田からバスにて、途中鎌  
田にて乗り換え、丸沼高原スキー場へ、ロープウェイに乗り、山頂駅へ、周  
りはガスっており、見えず、神社前から歩く、樹林帯の中では、時折陽が射  
すこともあるが、すぐにガスってしまう、お花畑を過ぎても天気は悪い、

山頂付近の分岐で5人出あう、すぐ上が山頂で、写真を撮っていると、雨が降り出してきた、雨具を着て、下山、避難小屋にて昼食を取る予定で、小屋へ、5人2組が先着、ここで昼食を取る、雨も上がりやれやれである。

五色沼へ下る、誰もいず、静かなものである、湖畔沿いに前白根山があるのだが、途中で切れており、元来た道を引き返し、小屋前より登る、稜線上から、先程の五色沼が見渡せる、登りきると前白根山である、またガスってきて見えなくなってしまった、くり返しである。

これからは下りなので、膝用サポーターを付けて、下る、時折薄日が差し込んできて、アルプスを思わせる、樹林帯である、湯元の標識が多い、道に迷い易い為に多いのだろう、天狗平までは普通の山道だが、ここからの下りはガレバが多く、急激に下りの連続で、緊張の連続である、やっと登山口まで降りてきた、スキー場を過ぎ、湯元温泉街を通り、湖畔近くのおおるり山荘にやっと到着、風呂にまず入りたかったが、バイク形式の為、食時となる、ビールは飲み放題であったので、ラッキーであった。その後、風呂に入り、のんびりすることができた。

2日目、青空で期待が持てる、山荘前よりバスに乗って、二荒山神社前下車、登拝祭期間で、入山料が1000であった、普段は500、樹林帯を登って行くと、時折、日差しが差し込む、山ガールが2人、降りてきた、夜中の12時より登って、ご来光を見てきたとの事で、たいしたもんだ、思いもつかなかった、今度は3人でやはり同様である、行動力には只只脱帽である。

3合目から4合目までは車道、長いこと、4合目から本格的登山道で、5合目の避難小屋が見えてきた、6合目～は岩場の連続で、気が抜けない、振り返れば、中禅寺湖が雲間より、展望できる、やっと8合目まできた、社務所がある、但し無人、これよりは少し登り易いが木道があり、かなり疲れる、9合目よりは火口岩の砂地で登り憎く、一歩・一歩・登ってやっと奥宮に到着、少し上が頂上、ここで昼食を取る、周りは見えず、5～6人程度で少ない感じがする。

下りはやはり楽である、只8～6合目まではやはり慎重にゆっくりと下る。それでもやはり早い、4時に神社前に着き、バスの時刻表をみると4分発がある、GOODタイミングである、バスに乗って、中禅寺湖・いろは坂を

下るが、ガスって見えず、JR日光駅に到着、レトロな駅で写真を撮ってしまった、宇都宮到着、駅前のリッチモンドホテルに宿泊、夕食は居酒屋千年の宴で三島さんとさしで飲んで話す、会に入って長い、2人だけで話すのは初めてで、それなりに有意義であったと思う。

3日目、朝から曇り、夜雨が降ったらしい、JR黒磯駅から那須高原を過ぎ、那須RW駅へ、ロープウェイに乗り、わずか4分間、雲海を抜けだし、山頂駅へ、これは期待できるか？

しばし砂地を登り、岩場を登ってゆくと、鳥居があって、祠があった、この時点で早くもガスってしまい、周りが見えなくなってしまった、周遊道を行き、下る、子供つれ3人がいた、下ると峰の茶屋へ到着、昔、硫黄採掘の作業員の為の休憩所だったとの事、これより、岩場の連続を登ると、朝日の肩に出た、ザックを置いて、身軽に朝日岳へ、ここでもやはり周りはガスって見えず、3日連続、一旦登って、下ると清水平へ、晴れておれば、見晴らしが良いだろう、

北温泉の分岐を過ぎ、下って処で昼食を取る、三本槍岳付近はガスが出たりと見え隠れの連続で、かなり不安定な天気である、空荷で約500M程登る、結構遠い、三本槍岳到着、先着2名様、ここでも周りが見えず、今回ことごとく全滅状態、帰路に着く、途中でザックを背負い帰路に着く、小雨が降ってきた、そのまま行く、最後の登りを上がりきって、朝日の肩より下る、ここでサポーターを付けて、岩場を慎重に下り、峰の茶屋へ到着、峠より牛ガ首方面に行く、至る処で硫黄が噴出している、南月山の分岐に出て、さらに下って行くと、牛ガ首の分岐に出て、下ると那須RW山頂駅到着、RWは十数人乗っていたが、バスで下る人は我々2人だけだった、黒磯駅からJR宇都宮へ、風呂に入るべく南大門スパに入浴、2階で食時をする、無事を祝し乾杯！！

チサンホテル前より12時20発のバスに乗って、三島さんは京都駅にて下車、6時、私は天王寺まで、7:30着、

報告者 島崎 隆



自主山行  
北アルプス 《立山三山～剣岳》

【日 程】 2011年8月2日～8月3日

【参加者】 L 石田・辻・杉村

【コースタイム】

- (8/2) 《立山駅 7:00 発(ケーブル)美女平 7:20 発(バス)室堂着 8:22》  
室堂(8:22)～室堂山(9:20)～浄土山(9:55)～一ノ越(10:35/  
10:50)～雄山(11:22/12:15)～大汝山(12:33)～真砂山(13:20)  
～別山南峰(14:45)/北峰(14:52)～別山乗越～剣山荘(16:45)
- (8/3) 剣山荘(5:30)～一服剣(6:10)～前剣(7:19/7:25)～剣岳(9:10  
9:50)～早月尾根 2600m(11:25)～早月小屋(11:25/12:35)～  
馬場島(16:20)

(8/2)晴天 立山よりケーブルカーで美女平へ、そしてバスで一気に涼しい室堂へ。14度であった。

バスからは称名の滝、そうめん滝、硫黄の臭い漂う地獄谷の煙、右にひとときわ大きい薬師岳、高原には多くの高山植物、あつと言う間の別天地。散策、観光、登山と沢山の人がいる。

歩き始める前に、今日の大事な水分となる美味しい玉殿の湧水を、辻さんが三人分入れて持ってくれる。立山のどっしりした姿が印象的。

敷き詰めた石の遊歩道を歩く。室堂山へは傾斜のある山道から石の平坦な上り、そして展望台へと進む。室堂バスターミナル、ミドリが池、上ってきた登山道がはっきりと見える。

分岐まで戻り、岩の続く斜面を上り浄土山へ、名前通りケルンが沢山ある。登山者も少なくなり、雷鳥との出会いもあり、高山植物を楽しむと心が和む。

そして雄山を見ながら緩やかに一ノ越山荘へ下る。山荘前は室堂から直接登ってくる多くの人。夏休みなので小中学生が目につく。案の定、雄山の急登の道は大行列が続き、下る人、上る人の岩屑がコロコロ落ちてくる、ので気をつけて上らないと怪我をしそうである。

山頂は子供の悪戯を注意するマイクの声が聞こえたり騒がしさ。安全山行を願って御祓いをして頂くため、雄山神社 3003mの石の上へ、お神酒を受けて気持ちが落ち着き昼食を取る。

鳥居のわきから大汝山への縦走路に入る。山頂の賑わいがアツという間に消え静かな山の姿にホッとする。暫く岩稜を歩き、道を右に少し外れ程なくすると岩塔の大汝山頂に到着。一の越山荘前では快晴であったがガスが出て視界がない。雨もぱらぱらと降り出すが直ぐにやむ。

富士折立から真砂岳への稜線では、一瞬にしてガスが切れ一本の尾根道がす〜っと浮かび上がり幻想的な光景。右に雪溪の内蔵助カール左に室堂平が出てきた。ハイマツの良い香りもする。ガスで展望がなくても自然は凄い。色々な変化を見せてくれる。

別山の祠にザックをおいて北峰へ進む。日本最高所の池、硯が池があったが雪の2m下に。今年は残雪が多そう。緩やかなアップダウンのある岩の稜線を越え別山乗越に。立山三山を爽快に進む事が出来た。

剣沢キャンプ場のカラフルなテントが下に見え出す。前方には大迫力の幾重もの鋭い岩稜を延ばし、その間に深く切れた谷やカール、大雪溪と雄姿の剣岳が、そして八つ峰の岩稜が見え圧倒される。凄い、山の懐に入っていると言う初めての感覚。感動がわく。剣沢小屋、テン場、山岳警備隊派出所、雪解けの綺麗な水の流れを横に、剣山荘へ急ぐ。が容易く到着させてもらえなかった。

幾度も長い雪溪、ガレ場、トラバースは緊張する。凍っていなかったのも、なんとか通過できた。剣山荘は見えているのだがなかなか着かない。少々疲れ気味であったが、明日の剣岳が待ち遠しい。

(8/3) 早朝は霧雨であったが、剣山荘出発時は夜明けの明かりが出ていた。山荘の裏から上りはじめると後立山連峰が美しく連なっている。手前には剣沢大雪溪があり解けた水が下方に集まり、幻の大滝といわれる所があるらしい。色々行きたい山が増えて来そう。

暫く行くとイワギキョウ、イワツメグサ、ウサギギク、ミヤマキンバイなどのお花畑けを通り、程なくすると岩場も急登となり鎖場もある一服剣である。

目前に前剣の切り立った壁があるが、一旦一服剣を下り、前剣に登る、大岩のトラバース、長い鎖に助けられ慎重に行く。後からガイド同行のヘルメット姿の二人の登山者が登っている。カナビラ、シュリングの使い方を教わっていた。それを見ると険しい山に来ているのだと緊張する。

平蔵の頭、コルヘ、約3千Mの所に、手すりのない細い梯子をザックを背負って渡る。足が一瞬止まる。一步目と僅かしかない岩幅に渡る最後の一步が今でも頭に残っている。そしてすぐに岩を90度トラバースで回り込んで進む。少し恐怖心がおこる。

同行者二人はさすが軽やかである。

有名な難所カニのタテバイの垂直の岩場ではない壁に取り付く。初めての経験で足が定まらない、もたつく、切り立った崖にいる事など忘れている。しかし慌てず??三点確保だけ頭に入れ確実に上る。ここを終わってもまだまだ険しい岩場や鎖場の連続、かなりの高度感があり緊張しながら進む。

上を見ると山頂より下山する多くの人が見えた。

アップダウンのガレ場を程なく上ると山頂に到着。ガスで展望がなかったが、憧れていた剣岳に来られて感激、とうとう実現できたと感無量。

早月尾根への下山から馬場島までの長い道のりを行う。剣岳に登頂した安堵感からか、ザックが急に重く感じる。

山頂より2600M までの尾根は、まだまだ気が抜けない。岩稜の下りは上りより滑りやすく気を使う。多くの長い鎖場もあり、足も手も少し疲れってくる。何人かの馬場島からの日帰り登山者に合い山頂の様子を聞かれた。

早月小屋付近より、花の種類も多くカラマツソウ、ニッコウキスゲ、オダマキ、エンレイソウ、ハクサンフウロウ、クモマグサ、クルマコリ、キリンソウなど沢山咲いている。山並みも美しく見えだし、空気の違いが判るようになった。 自然林も多くなりあと一息で馬場島へ。

夢にまで見た剣岳を立山から馬場島まで縦走でき、達成感と充実感でいっぱい山行であった。

(記:杉村)

新人教育山行  
《金剛山北尾根》

【日 程】 2011年8月7日(日) 晴れ

【参加者】 L 多賀・的場・杉川

【コースタイム】 青崩登山口(9:00/40)～金剛山頂(昼食)(12:10/12:45)  
～登山口(14:30)

山歩きの基本的な事を、実践を通して学ぶため、金剛山に登りました。

先生は多賀氏、生徒として杉川氏と私の二人が参加いたしました。青崩につくと、道沿いに車の列。少し上の方に止めて出発する。少し登ったところで、若干時間をとって山登りの講義。地図、コンパス、の見方使い方。杖の必要性。登山靴、ザック、雨具の選び方。また歩き方、食事の摂り方など、詳細に指導を受けた。指導がよかったのか、私としては、頂上まで、比較的調子良く登れました。

金剛山は、自宅から近いので、いつも一人で登っていますが、同じコースばかりになって、いろいろな登山コースや草花の豊富なのも教えていただき、大変参考になりました。まだまだ知らないことも多いですので、今後ともよろしく願いいたします。

時間と先立つものの許す限り参加したいと思っています。 (的場)

金剛山へ教育山行で、初めて山の会の方とご一緒させて頂きました。色々ご指導頂き、とても有意義な一日になりました！

しかし教育山行でいきなり弁当を、入れ忘れた私に、おにぎりを提供していただいた多賀さん、うどんを半分分けて頂いた、的場さん、仲間の有り難さを感じたい山行でした！てか、いきなり弁当忘れる なよ！と自分で深く反省の山行でもありました。今後とも、ご指導のほど宜しくお願いします。 (杉川)

ウエルカム新人さん、と言うことでまず一緒に山に登る事からと思っていました。いろいろ小難しい事を言いましたが、たまには思い返してください。大きな体の的場さん、弁当は忘れても、箸は忘れない杉川さん、まさに大物新人の二人を、山行リーダーさんよろしく願いします。

(多賀)

例会山行

大峰の山 ≪和佐又山≫ (1,344m)

【日 程】 2011年8月21日(日) 曇りのち雨

【参加者】 L島崎・SL多賀・藤井・林・内田・辻・杉村  
玉越・的場・杉川

【コースタイム】 上牧P場(6:30)～スーパー(7:00/7:20)～和佐又ヒュッテ  
(9:00/9:05)～分岐(9:20)～和佐又山山頂(9:35/9:55)～和佐又ヒュッテ  
(10:15)～キャンプ場(10:20/13:20)～上牧P場(15:45)

前々日に雨が降り、空気が入れ替わったように気温が下がった。天気が回復しないまま、山行当日を迎える。当初は不動七重滝に行く予定だったが、川が増水している可能性があったので、今回は和佐又山キャンプ場へ場所を変更することになった。

上牧駐車場を出発し、途中スーパーで買出しをして9時ころキャンプ場へ着いた。お昼を食べるにはまだずいぶん早いので、みんなで和佐又山へ登ることになった。15分ほど登ると分岐点に出る。分岐点からさらに15分くらい登ると和佐又山山頂に到着。白いガスの中に大普賢岳が臨める。

下りはじめると、だんだんと空が明るくなり、セミの鳴く声が聞こえます。雨にぬれた木の根が大変滑りやすく、気をつけながら歩くと、じんわりと汗ばんでくる。山頂から20分程でヒュッテに戻ってきた。

軽い運動を終えてお腹も減ってきた。男性陣が炭火をおこし、女性陣が食材の用意をしてテキパキとバーベキューの準備ができた。一時雨に降られて東屋に逃れるが、食べる段になると雨も上がり、肉・サンマ・アユ・野菜などをおいしくいただいた。お腹いっぱいBBQを楽しんで片付けはじめると、また雨。今度は大降りです。雷も鳴る。しばらく雨宿りをした後、帰途についた。

一日を通してどんよりした曇り空。時折雨も降ったけれど、大切なところではちゃんと雨も上がり、さほど濡れることなく山行とBBQの両方を楽しむことができました。 (記：玉越)

## 室内例会だより

【日 時】2011年7月17日(日) 14:00~16:00 事務所

【出席者】島崎、田中悦、田中初、多賀、辻、都築、三島、林、高橋、  
村田、勝尾、内田、杉村、的場、杉川、藤井(16名)

### 1、山行報告

6月26日(日) 例会山行 大峰観音峰 L多賀 7名

雨天のため順延して実施

7月3日(日) 夏山訓練山行 大峰釈迦ヶ岳 L島崎 7名

7月3日(日) ハイキングリーダー学校訓練山行

比良山系白滝山~打見山 L藤本 2名(他5名)

7月10日(日) 例会山行 大峰 弥山~八経ヶ岳 L藤本 13名

### 2、山行案内

7月29日~31日 自主山行 立山三山~剣岳 L石田

8月1~3日 例会山行 男体山、日光白根山、那須岳 L三島

一日目と二日目のコースを変更しました。

8月7~10日 自主山行 南アルプス 北岳~塩見岳 L田中悦

8月21日(日) 平日山行 大峰七重の滝 バーベキュー山行 L島崎

8月26~28日 例会山行 八ヶ岳 硫黄岳~横岳~赤岳 L辻

### 3、連絡その他

- ・クリーンハイク 雨天の場合は翌週に順延する。

実行委員会で決定する。

- ・7月9日(土)

全国連盟から個人会員制度について説明に來られました。

8名参加

- ・遭対基金の更新、集金をしました。
- ・例会の時間を拡大して、自由に意見を交換する場をもうけましたが特に意見は出ませんでした。
- ・山登りに必要な筋肉の鍛え方。骨密度を高めるための体操の指導。
- ・上牧町の杉川明裕さんが入会されました。
- ・例会終了後、王寺魚八庭で暑気払いをしました。16名参加。